

栃木工場

トラック・バス用タイヤ、乗用車用タイヤから
地下鉄・モノレール用タイヤまで幅広く生産

操業開始 1971年4月（国内タイヤ工場として7番目に操業開始）

敷地面積 484,480m²

生産品目 乗用車用、トラック・バス用、小型トラック用ラジアルタイヤ、
モノレール用タイヤ



①正門 ②事務所 ③主工場 ④バンパリー棟 ⑤保全センター ⑥試験センター
⑦コ・ジェネレーションシステム ⑪

トラック・バス用から地下鉄・モノレール用タイヤまで生産

栃木工場は1971年にブリヂストンの国内7番目のタイヤ工場として、また、日本初のトラック・バス用ラジアルタイヤ専門工場として誕生しました。その後、1979年には乗用車用ラジアルタイヤの生産ラインも加わり、ブリヂストンの主力工場の一つとして当社バリューチェーンの一翼を担っています。現在ではトラック用超偏平シングルタイヤ「GREATEC（グレイテック）」や、国内外の新交通・地下鉄等の公共機関へ納入するタイヤなども栃木工場で生産しており、利用されるお客様の安全を足元から支えています。

トラック・バス用の超偏平タイヤ「GREATEC（グレイテック）」

栃木工場では、大型トラックにおいて従来片側2本あったタイヤを1本にした、トラック用の超偏平シングルタイヤ「GREATEC（グレイテック）」を生産しています。

「GREATEC（グレイテック）」は、通常2本使用されるトラックの後輪を1本にすることで、2本で使用する場合と比べて重量が抑えられるため、車両軽量化につながり積載重量を増やすことが可能となります。



GREATEC（グレイテック）

厳格な品質管理と更なる生産性向上への取り組み

ブリヂストンでは、「最高の品質で社会に貢献」を使命とし、工場の生産活動において、きめ細かい品質管理が徹底して行われています。栃木工場では、厳格な品質管理とともに生産性の向上を実現するため、各職場でスルラク活動^(注)をはじめとする様々な改善活動を活発に行っています。

（注）スルラク活動：

良いモノを標準通りに作って、標準通りに流せる生産状態を実現する或いは維持するための活動。

地域社会の一員として

栃木工場では、自然・地域との共生を目指して、「CO₂排出量削減活動」、「環境改善活動」、「緑化推進活動」、「社会貢献活動」の4つの活動を推進しており、工場敷地内だけでなく地域の美化活動にも積極的に取り組んでいます。栃木県那須塩原市に「エコピアの森 那須塩原」をオープンした2005年7月から定期的に従業員ボランティアによる植樹や森林整備を実施しています。また、2011年3月に発生した東日本大震災の被災者支援として、物資援助や現地でのがれき処理に参加、その後も復興支援などボランティア活動にも注力しており、積極的に社会貢献活動を推進しています。

防災意識の向上に努めて

2003年9月8日の火災事故の記憶を風化させない、また、今後火災事故を起こさないために、2004年9月に「防災の鐘」を設置しました。毎月8日を「栃木工場防災の日」と定め、あの日を忘れないために、「防災の鐘」を鳴らしています。また、敷地内に「防災トレーニングセンター」を開設し栃木工場従業員だけでなく、新入社員や他工場従業員への防災研修などに使用されています。



防災の鐘



防災トレーニングセンター

環境に配慮した工場を目指して

ブリヂストンではCO₂排出量の削減に大きく寄与するコ・ジェネレーションシステム^(注)を国内の多くのタイヤ工場に導入しています。栃木工場では2004年12月から稼働を開始し、限られたエネルギー資源の効率的な利用を図っています。また、2023年1月からは工場で使用するすべての購入電力を100%再生可能エネルギーへ切り替えており、CO₂排出量削減に貢献します。

（注）コ・ジェネレーションシステム：

1つの燃料から電気や熱などの2つ以上の有効なエネルギーを発生させるシステム。

ブリヂストンでは、発電時に発生する廃熱を利用して蒸気を発生させ、エネルギーを効率的に利用しています。



コ・ジェネレーションシステム



エコピアの森 那須塩原



東北復興支援 綿花収穫

私にもできる、ドライブ前のチェックポイント

空気圧点検

エアゲージをお持ちでない方は…



マークのある販売店では、タイヤの安全点検を実施しております。お気軽にお立ち寄りください。



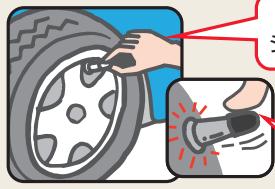
タイヤが冷えているのを確認してから走行直後はタイヤ、ホイールが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。



エアゲージ
ホイールにあるバルブの口にセットして空気圧の過不足を測ります。



石鹼水
石鹼水をつかって、バルブからの空気の漏れがないか確認します。

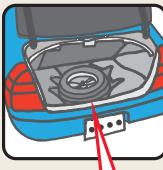
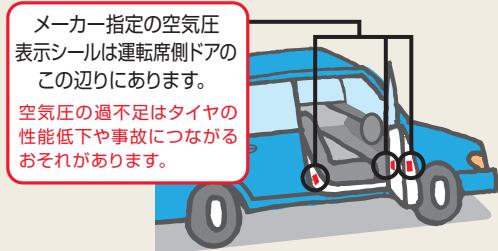


バルブキャップ
点検後は、バルブのキャップを忘れがちです。しっかりと締め直しましょう。

バルブキャップはシッカリと締めよう。

バルブの根元も痛んでいないか空気もれがないかチェック！

- 空気圧不足の時は、お近くのタイヤショップかガソリンスタンドなどで充填してください。



スペアタイヤの点検も忘れずに！

チッ素ガスのお薦め

タイヤの空気圧は時間とともに少しずつ低下します。
チッ素は空気と比べてこの“自然低下”を抑えることができます。

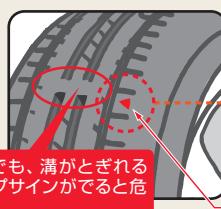


チッ素ガス充填のメリット

- ① 空気圧に比べ、内圧の低下が少ないため、管理がしやすい。
- ② 内圧の低下を抑えることにより、操縦安定性の維持向上、偏摩耗の抑制、燃費の維持に貢献する。

タイヤの外観チェック

これが摩耗の危険サインです！



1ヶ所でも、溝がとぎれるスリップサインができると危険です

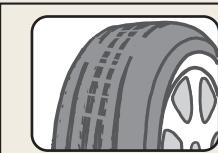
拡大図



残り溝が1.6ミリになる目安としてスリップサインを設けています。スリップサインが1ヶ所でも出ると使用することを法律で規制されています。

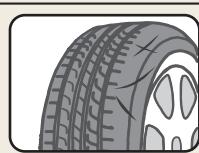
これがスリップサイン表示マークです

タイヤチェック、3つのポイント



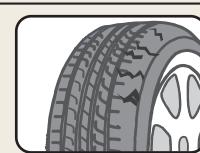
①ミゾ

すり減ったタイヤの雨の日は、制動距離が伸びて危険。ハイドロフレーニング現象も起こります。



②キズ

小さなキズが大きなバーストを起こす可能性があります。



③ヒビ

古く劣化してヒビ割れができていないかをチェック。

タイヤの空気圧が適正值より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度それぞれ燃費が悪化します。^{※1}

燃費悪化率2%（市街地）、月に1,000km走るとして燃費=10km/ℓ、ガソリン代=146円/ℓ^{※2}で

なんとガソリン代 約3,500円/年の損失^{※3}

更にCO₂排出量も増加します。

出典 / ※1: (社)日本自動車工業会

※2: 石油情報センター2007年8月平均レギュラーガソリン単価

※3: (社)日本自動車工業会のデータに基づきブリヂストンにて試算



当社に関する情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.bridgestone.co.jp>

株式会社ブリヂストン

栃木工場

栃木県那須塩原市上中野10 〒329-3154

電話 (0287) 65-3211